

第60回日本実験動物学会総会
プログラム

総合プログラム

日本実験動物学会通常総会

5月16日(木) 13:15～14:00 第1会場(大ホール)

学会賞授与式および受賞講演

5月16日(木) 14:00～15:45 第1会場(大ホール)

1. 安東・田嶋賞

岡部 勝(大阪大学微生物病研究所・附属生体応答遺伝子解析センター)

「遺伝子組み換えによる不妊モデルの開発とその解析」

芹川忠夫(京都大学医学研究科付属動物実験施設)

「ラット遺伝地図とラット・マウス・ヒト比較遺伝地図の作成研究」

2. 奨励賞

成瀬智恵(金沢大学学際科学実験センター 遺伝子改変動物分野)

「遺伝子改変マウスを用いた哺乳類の発生機構の研究」

新美君枝((独)理化学研究所脳科学総合研究センター研究基盤センター動物資源開発支援ユニット)

「老化促進マウス(Senescence-Accelerated Mouse Prone 6:SAMP6)に対する網羅的行動解析試験を用いた脳機能研究」

3. 功労賞

佐藤 浩(自然科学研究機構生理学研究所)

4. 最優秀論文賞

関口有佳里、大和田淳也、大石久史、勝又斗紀夫、池田香理、工藤 崇、高橋 智

「生物発光イメージングを利用した β 細胞マスと胎仔 β 細胞新生の非侵襲的検出」

Experimental Animals Vol. 61, No.4, 445-451, 2012

5. 国際賞(第2会場(中ホール300))

【O-73】 Bing Chen (中国)

【O-74】 Chia-Yu Wu (台湾)

【O-75】 Permanawati (インドネシア)

【O-76】 Kamalan Jeevaratnam (マレーシア)

【O-77】 Patricia Diana S. Suiza (フィリピン)

【O-78】 Bao Zhen Tan (シンガポール)

【O-79】 Duangthip Chatchaisak (タイ)

発表日時: 5月17日(金) 13:15～15:15

会場: 第2会場(中ホール300)

市民公開講座 ※入場無料・申込み不要 会員の皆様もご参加ください

5月17日(金) 15:30～17:30 第1会場(大ホール)

座長：八神健一(日本実験動物学会理事長・筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

「実験動物研究から見えてくる生活習慣病の基礎から治療・予防
～脂質の質に視点を置いた新たな戦略～」

島野 仁(筑波大学医学医療系内分泌代謝糖尿病内科)

「実験動物とiPS細胞を用いた再生医療研究」

岡野栄之(慶應義塾大学医学部生理学教室)

特別講演

5月16日(木) 17:00～18:00 第1会場(大ホール)

テーマ：「The International Mouse Phenotyping Consortium: Future Perspectives on Mouse Phenotyping」

Steve Brown(MRC Harwell, UK and the International Mouse Phenotyping Consortium)

座長：Yuichi Obata (RIKEN BRC)

シンポジウム I

5月15日(水) 9:15～12:00 第1会場(大ホール)

テーマ：「複数のリソースを効果的に用いた研究への招待
～NBRP「実験動物リソース」シンポジウム～」

座長：庫本高志(京都大学医学研究科)

吉木 淳(理研BRC)

I. 遺伝子機能の解明

1. 「脊椎動物が季節を感じる仕組み：ウズラ、マウス」

吉村 崇(名古屋大学大学院生命農学研究科)

2. 「線虫変異体リソースを用いた遺伝子機能解析と哺乳類細胞への展開」

三谷昌平(東京女子医科大学医学部)

II. 疾患の解明

3. 「筋ジストロフィーの薬物療法に関する研究 マウス、ラット、イヌの病態モデルを用いた薬効解析」

裏出良博(大阪バイオサイエンス研究所分子行動)

4. 「ショウジョウバエを活用した2型糖尿病モデルラットのQTL遺伝解析」

小瀬博之(国際基督教大学教養学部)

5. 「メダカおよびマウスを用いた非アルコール性脂肪肝炎の病態研究および薬物スクリーニング」

寺井崇二(山口大学大学院医学系研究科)

シンポジウム II

5月15日(水) 9:15～12:00 第2会場(中ホール300)

テーマ：「実験動物科学と創薬技術の接点—新たな展開」

座長：梶井 靖(アツヴィ GK)

谷川 学(株式会社中外医科学研究所)

1. 「イントロダクション：ポストゲノム時代の医学生物学における実験動物」

梶井 靖(アツヴィ GK)

2. 「創薬ツールとしてのパーキンソン病のメダカモデル」

高橋良輔(京都大学大学院医学研究科)

3. 「創薬における臨床予測性の向上を目指した実験動物科学とバイオイメージング技術の融合」
三好 荘介 (アステラス製薬株式会社)
4. 「創薬を目指した自閉症ヒト型マウスモデルの開発」
内匠 透 (広島大学医学部)
5. 「創薬における遺伝子改変動物の役割 —GPR40 アゴニスト研究へ与えたインパクト—」
辻畑善行 (武田薬品工業株式会社)

シンポジウムⅢ

5月16日(木) 9:00～12:00 第1会場(大ホール)

テーマ: 「先端の実験動物としての霊長類モデルの開発: 基礎から再生医療まで」

座長: 伊佐 正 (自然科学研究機構生理学研究所)

佐々木えりか ((公財) 実験動物中央研究所)

1. 「iPS細胞と遺伝子改変霊長類を用いた神経再生・疾患研究」
岡野栄之 (慶應義塾大学医学部)
2. 「霊長類におけるクローン技術の開発」
外丸祐介 (広島大学自然科学研究支援開発センター)
3. 「コモンマウスセットの行動特性と実験動物としての可能性」
中村克樹 (京都大学霊長類研究所)
4. 「ウイルスベクターを用いた神経路選択的除去技術により大脳基底核の機能と病態を解明する」
高田昌彦 (京都大学霊長類研究所)
5. 「霊長類の神経回路機能を自在に操作する」
伊佐 正 (自然科学研究機構生理学研究所)

シンポジウムⅣ (学術集会委員会主催)

5月16日(木) 9:00～11:45 第2会場(中ホール300)

テーマ: 「エピジェネティクス研究と実験動物 - 発生、疾患、技術」

座長: 浅野雅秀 (金沢大)

小倉淳郎 (理研BRC)

1. 「プロテオミクス、ゲノミクスによるエピジェネティクスの機能階層構造の解明」
小布施力史 (北海道大学先端生命科学研究院)
2. 「次世代シーケンサーを用いた胚操作のマウス初期胚への影響の解析」
幸田 尚 (東京医科歯科大学難治疾患研究所)
3. 「エピジェネティック因子によるほ乳類の性決定の制御」
立花 誠 (京都大学ウイルス研究所)
4. 「ヒストン脱メチル化酵素 Jmjd1a と肥満・メタボリックシンドローム」
酒井寿郎 (東京大学先端科学技術研究センター)
5. 「レット症候群原因因子 MeCP2 の新規作用とその神経系細胞における役割」
中島欽一 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)
6. 「核移植技術により明らかにされる哺乳類の発生エピジェネティクス」
小倉淳郎 (理研BRC)

シンポジウムV (実験動物感染症対策委員会主催)

5月16日(木) 9:00～11:45 第3会場(中会議室201)
テーマ:「実験動物輸出入の際に必要な微生物検査など」
座長: 林元展人((公財)実験動物中央研究所)
池 郁生(理研BRC)

- I. 諸外国における微生物検査メニューの違い〈動物施設編〉
 1. 「世界における齧歯類検査メニュー」
林元展人((公財)実験動物中央研究所)
 2. 「世界におけるサル類感染症の検査メニュー」
小野文子((社)予防衛生協会)
- II. 日本へ動物を輸入する際に必要な微生物検査〈動物検疫編〉
 3. 「実験動物の輸入における人獣感染症のリスクと対応」
森川 茂(国立感染症研究所獣医科学部)
- III. 日本から海外へ動物を輸出する際に必要な微生物検査
 4. 「実験動物を輸出する際に要求される微生物検査について」
池 郁生(理研BRC)
 5. 「NBRP-Rat事業におけるラットの授受について」
中根良文(京都大学大学院医学研究科)
- IV. 総合討論

シンポジウムVI

5月17日(金) 9:00～12:00 第2会場(中ホール300)
テーマ:「IMPCとマウス表現型解析の国際標準化」
「IMPC activity for Global Mouse Phenotyping Standardization」
座長: Thomas A. Weaver (MRC)
Shigeharu Wakana (RIKEN BRC)

1. Large-Scale Mouse Genetics Infrastructure at the MRC: Implementation and Integration with International Programs
Thomas A. Weaver (MRC Harwell, Mary Lyon Centre)
2. Mouse Phenotyping: Combining Genetics and Epigenetics
Xiang Gao (Nanjing University, P.R. China)
3. Standardization of Mouse Immunological Phenotyping in National Laboratory Animal Center, Taiwan
Yu-Chia Su (National Laboratory Animal Center, Taiwan (R.O.C.))
4. Mouse Metabolic and Sensory Phenotyping in Korea Mouse Phenotype Consortium (KMPC)
Je Kyung Seong (Korea Mouse Phenotype Consortium, Korea)
5. Phenotyping Pipeline at the Australian Phenomics Facility
Edward M Bertram (The Australian National University, Australia)
6. Examinations of Phenotyping Data in Japan Mouse Clinic
Hiroschi Masuya (RIKEN BRC)

シンポジウムⅦ(日本実験動物技術者協会主催)

5月17日(金) 9:00～11:45 第1会場(大ホール)

テーマ:「遺伝子組換え生物等規制法等の法令遵守のための管理の実際」

座長: 小木曾昇(国立長寿医療研究センター研究所)

加藤秀樹(浜松医科大学)

1. 「動物実験におけるコンプライアンス」
加藤秀樹(浜松医科大学医学部)
2. 「法令遵守に対する取組みの実際: アンケート調査報告」
小木曾昇(国立長寿医療研究センター研究所)
3. 「違反事例と改善のポイント」
高橋利一((公財) 実験動物中央研究所、インビボサイエンス株式会社)
4. 「企業における法令遵守への取組み—遺伝子組換え動物使用における拡散防止措置について—」
小山公成(アステラスリサーチテクノロジー株式会社)
5. 「大学等における法令遵守への取組み
—遺伝子組換え実験室等の承認制に伴う新たな拡散防止措置の取組み—」
井上吉浩(東北大学加齢医学研究所)

ワークショップⅠ

5月15日(水) 9:15～12:00 第3会場(中会議室201)

テーマ:「次世代マウス表現型解析技術の潮流」

座長: 阿部訓也(理研BRC)

田村 勝(国立遺伝学研究所・理研BRC)

1. 「Micro-Computed Tomography (micro-CT) を用いたマウス形態計測」
田村 勝(国立遺伝学研究所・理研BRC)
2. 「Cruising inside cells」
宮脇敦史(理化学研究所脳科学総合研究センター)
3. 「Optical Coherence Tomography (OCT) による網膜の生体イメージング」
原田高幸(東京都医学総合研究所視覚病態プロジェクト)
4. 「集団型全自動行動試験装置 IntelliCage を用いたマウス高次脳機能表現型解析」
掛山正心(東京大学大学院医学系研究科)
5. 「赤外線深度センサを用いたマウスの自然な歩行解析システムの開発」
柴田智広(奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科)

ワークショップⅡ(若手企画ワークショップ)

5月17日(金) 9:00～12:00 第3会場(中会議室201)

テーマ:「目指せメジャー入り! マイナーモデル動物たちの熱き闘い」

座長: 東岸任弘(大阪大学微生物病研究所)

吉川欣亮(都医学研・哺乳類遺伝)

1. 「ミシママウスでゲノム機能を探る」
高田豊行(国立遺伝学研究所)
2. 「アカネズミ 多様性を科学する齧歯類バイオリソース候補」
越本知大(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)
3. 「老化耐性・がん化耐性ハダカデバネズミの分子生物学的研究の展開」
三浦恭子(慶應義塾大学医学部)
4. 「心血管疾患のモデル動物、WHHL, WHHLMi ウサギ」
塩見雅志(神戸大学医学研究科)

5. 「次世代SE36 マラリアワクチンの開発と実用化：モデル動物としてのカンクイザル・リスザルの利用」
東岸任弘（大阪大学微生物病研究所）
6. 「フェレットを用いた高等哺乳動物の脳神経系の分子遺伝学的解析」
河崎洋志（金沢大学大学院医学系研究科）
7. 「カメゲノムと脊椎動物ボディプラン」
入江直樹（理化学研究所発生再生科学総合研究センター）
8. 「ギョギョ！古くて新しい実験モデル：キンギョ」
田丸 浩（三重大学大学院生物資源学研究科）
9. 「ヒト化ヒツジの作製を目指して」
阿部朋行（自治医科大学再生医学研究部）

特別企画（(公財) 実験動物中央研究所共催）

5月17日（金） 12:00～13:00 第1会場（大ホール）

テーマ：「実験動物科学と野村達次先生」

司 会：八神健一（日本実験動物学会理事長）

1. 「野村実験動物学は橋渡し研究のルーツ」
鍵山直子（(公財) 実験動物中央研究所）
2. 「野村実験動物学は臨床への架け橋 —筋ジストロフィーは治療の時代へ—」
埜中征哉（国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長）

国際賞

5月17日（金） 13:15～15:15 —口頭発表V— 第2会場（中ホール300）

- 【O-73】 Bing Chen（中国）
- 【O-74】 Chia-Yu Wu（台湾）
- 【O-75】 Permanawati（インドネシア）
- 【O-76】 Kamalan Jeevaratnam（マレーシア）
- 【O-77】 Patricia Diana S. Suiza（フィリピン）
- 【O-78】 Bao Zhen Tan（シンガポール）
- 【O-79】 Duangthip Chatchaisak（タイ）

動物福祉・倫理委員会セミナー（動物福祉・倫理委員会主催）

5月15日（水） 18:30～20:30 第1会場（大ホール）

テーマ：「動物実験についての透明性の向上 —社会的合意形成をめざして—」

座 長：喜多正和（京都府立医科大学大学院医学研究科）

「動物愛護及び管理に関する法律」（以下「動物愛護管理法」）は、昨年まで長きに亘る議論を経て改正が行われた。多くの実験動物関係者は、この法改正に至る議論や過程に非常な関心をもって見守っていた。ただ同時に今回の法改正に至る議論やその結果に対して、疑問や問題点を感じていた関係者もあった。

一方、日本実験動物学会 動物福祉・倫理委員は、先の法改正の議論が行われていたさなかの第58回日本実験動物学会総会で、外部検証に関する原則（アンブレラ・ガイドライン）を提言した。

このような背景を踏まえて、今回改めて動物愛護管理法改正に至る経緯やその後の動きをもう一度整理し、先の提言を踏まえつつ問題点や今後の方向性を議論する必要があると、本委員会は考える。

そこで、本セミナーでは動物愛護管理法改正の経緯とその後の動きを参加者で共有し、そこから浮かび上がる問題点やその対応について諸外国の事例などを参考にしつつ、日本の実験動物関係者が透明性の向上のために進むべき道を探る議論をしたい。

1. 「動物愛護管理法見直しの経緯とそこから見えてきた課題」
浦野 徹（熊本大学 生命資源研究・支援センター）
2. 「諸外国の見る透明性向上のための取り組み」
池田卓也（日本チャールス・リバー株式会社）
3. 「動物福祉・倫理委員会が提言する透明性向上のための取り組み」
國田 智（自治医科大学実験医学センター）
4. 総合討論

LASセミナー

平成25年度LASセミナーとして、実験動物福祉、生殖工学、微生物モニタリングおよび遺伝子組換え動物とカルタヘナ法の4つのテーマを企画しましたので、是非ご参加ください。

定 員：125名／1セミナー
参加費：無料

LASセミナーⅠ 「実験動物福祉」 企画：渡部 一人（中外製薬）、黒澤 努（AAALAC）

5月15日（水） 9:15～11:15 第5会場（中会議室202）

1. 日本製薬工業協会での活動（20分講演＋20分質疑*）

講師：渡辺秀徳（日本たばこ産業）

世界的な3Rs遵守の促進と国内動愛法改正に即応するために、製薬企業ではより合理的な動物実験の適正化が求められている。本課題対応を目的とした製薬協 医薬品評価委員会 基礎研究部会チームにおいて、動物福祉および自主管理体制の推進ならびに関連国内外法規制の調査研究などに積極的に取り組んでいる。

2. エンリッチメントと麻酔法（40分講演＋40分質疑*）

講師：黒澤 努（AAALAC）

実験動物福祉は国際的に必須の事項として捉えられてきた。しかし、我が国では理念としては十分理解されたが、具体的な方法は未だ十分理解されていない面もある。今回はエンリッチメントと最新の麻酔に対する考え方と具体的方法を話題とする。とりわけ第三者認証の申請時に話題となる事項につき取り上げたい。

*質疑時間を十分に確保しているので、課題についてあらかじめ質問を受け付けます。質疑時間にこれら質問について解説する予定です。

LASセミナーⅡ 「生殖工学」 企画：中潟直己（熊本大学CARD）

5月15日（水） 14:30～16:30 第5会場（中会議室202）

講師：中潟直己（熊本大学CARD）、竹尾 透（熊本大学CARD）

今回のLASセミナーでは、マウス体外受精に関する基盤整備技術について解説を行います。これまでに作製された遺伝子改変（トランスジェニック（Tg）およびノックアウト（KO））マウスは、世界中で5万系統を超えていると言われており、その系統保存技術として、マウス精子の凍結保存が行われています。また、最近では、精巢上体尾部の冷蔵輸送も行われつつあり、その技術開発が進んでいます。さらに、新鮮精子でも、高い体外受精率が得られない系統について、その受精率の向上を目指した研究が進んでいます。本セミナーでは、これまでに当センターで開発した以下のマウス体外受精技術について紹介します。

- 1) 凍結精子による体外受精
- 2) 冷蔵精子による体外受精
- 3) 冷蔵後、凍結した精子による体外受精

4) 低受精能新鮮精子による体外受精

LASセミナーⅢ 「微生物モニタリング」 企画：高倉 彰（実験動物中央研究所）

5月15日（水） 16:40～18:40 第5会場（中会議室202）

講師：高倉 彰、林元展人（公財）実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター

実験動物における微生物検査の基本的な考え方、重要な感染症の紹介、微生物汚染状況および遺伝子検査法を含む微生物検査方法を具体的に紹介する。また今後の微生物モニタリングの方向に関するICLASモニタリングセンターの考え方も解説する。またセミナー参加者からの微生物モニタリングに対する疑問、質問にも十分お答えするために質疑応答時間も充実させたい。

LASセミナーⅣ 「遺伝子組換え動物とカルタヘナ法」企画：松本清司（信州大学）

5月16日（木） 9:45～11:45 第5会場（中会議室202）

講師：三浦竜一（東京大学）、野島久美恵（放医研）

カルタヘナ法が制定されてから既に8年が経過しているため、本セミナーではまず現状を踏まえて基本的な事項のおさらいを行う。そして、遺伝子組換え動物を利用する場合の具体的な手続きや考慮すべき点、事例などについて解説する。最後に、遺伝子組換え実験・生物全般に関する疑問に答える質問コーナーの時間を設けますので是非ご相談ください。

ランチョンセミナー

5月15日（水） 12:15～13:15

【LS-I】	日本クレア株式会社	会場：第2会場（中ホール300）
【LS-II】	日本実験動物協同組合	会場：第3会場（中会議室201）
【LS-III】	日本チャールス・リバー株式会社	会場：第5会場（中会議室202）

5月16日（木） 12:00～13:00

【LS-IV】	株式会社夏目製作所	会場：第2会場（中ホール300）
【LS-V】	ハムリー株式会社	会場：第3会場（中会議室201）
【LS-VII】	九動株式会社	会場：第5会場（中会議室202）

ホスピタリティールーム

日時：5月15日（水）9:00～5月17日（金）17:00

【HS-I】	日本クレア株式会社	会場：小会議室402
【HS-II】	ハムリー株式会社	会場：小会議室403
【HS-III】	理研サイネス（生命情報データベース）	会場：小会議室404
【HS-IV】	筑波実験動物研究会	会場：小会議室407

NBRP展示

日時：5月15日（水）9:30～5月17日（金）12:00

会場：大会議室（101+102）前 ホール

器材展示

5月15日（水）9:30～5月17日（金）12:00

多目的ホール、大会議室（101+102）

口頭発表

5月15日(水)
第1会場(大ホール)

口頭発表 I

若手優秀発表賞 I

14:30 ~ 15:06 座長 桑原正貴(東京大)

O-1 同腹他仔との出生時体重の相対順位がマウスの日内休眠発現を規定する
○加藤 悟郎^{1,2}、坂本 信介¹、越本 知大¹、森田 哲夫²
(¹宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、²宮崎大学農学部)

O-2 オートファゴソームマーカー GFP-LC3のマウス受精卵での急速な分解に関する研究
○塚本 智史¹、原 太一²、山本 篤^{1,3}、鬼頭 靖司¹、南 直治郎⁴、佐藤 健²、小久保 年章¹
(¹放射線医学総合研究所研究基盤センター生物研究推進課、²群馬大学生体調節研究所細胞構造分野、³東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生殖機能協同学、⁴京都大学大学院農学研究科生殖生物学研究室)

O-3 緑内障モデルマウスを用いたPACAPの網膜保護機構の検討—マイクログリア/マクロファージの関与—
○中町 智哉¹、和田 悦洋^{1,3}、関 保^{1,3}、加賀美 伸幸¹、今井 ノリ¹、荒田 悟²、塩田 清二¹
(¹昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門、²昭和大学遺伝子組換え実験室、³昭和大学医学部眼科学講座)

若手優秀発表賞 II

15:06 ~ 15:42 座長 山海 直(医薬基盤研)

O-4 リボカリン2による雌生殖路内における精子成熟機構の解明
○渡邊 仁美¹、竹尾 透²、東城 博雅³、酒匂 一仁²、中瀬 直己²、近藤 玄¹
(¹京都大学再生医科学研究所、²熊本大学 生命資源研究・支援センター、³大阪大学大学院 医学系研究科)

O-5 雌雄前核打ち分けによるインプリント遺伝子制御機構の解析

○大字 亜沙美¹、中西 友子^{1,2}、天野 友二郎¹、堀 直裕^{1,2}、佐藤 建三^{1,2}
(¹鳥取大学大学院医学系研究科分子細胞生物学分野、²鳥取大学染色体工学研究センター)

O-6 ラットの内部細胞塊および胚性幹細胞におけるインプリント遺伝子のDNAメチル化解析

○後藤 哲平^{1,2}、田村 千尋¹、三宝 誠¹、保地 眞一³、平林 真澄¹
(¹生理学研究所行動・代謝分子解析センター、²名古屋大学大学院生命農学研究科、³信州大学繊維学部)

若手優秀発表賞 III

15:42 ~ 16:18 座長 吉川欣亮(都医学研)

O-7 Identification of novel causative gene for ACC in transgene insertional mutant mice

○Huong Tra Dinh Thi、飯島 沙織、水野 聖哉、杉山 文博、八神 健一
(Laboratory Animal Resource Center, University of Tsukuba)

O-8 *KitW-U^{tr}* 自然突然変異マウスが示す早期胚性致死

○高見 幸平、飯島 沙織、大徳 陽子、岡野 友子、梶原 典子、水野 聖哉、杉山 文博、八神 健一
(筑波大学生命科学動物資源センター)

O-9 野生由来ヘテロジニアスストックを用いたマウス従順性の新たな遺伝解析法の確立

○後藤 達彦^{1,2}、小出 剛¹
(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²情報・システム研究機構新領域融合研究センター)

若手優秀発表賞 IV

16:18 ~ 16:42 座長 原口清輝(畜産草地研)

O-10 受精のライブイメージングによって示された融合必須因子IZUMO1の挙動

○佐藤 裕公^{1,2}、井上 直和¹、伊川 正人¹、岡部 勝¹
(¹大阪大学微生物研究所、²大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

O-11 B6-MSM コンソミック系統を基盤とした加齢性難聴発症関連遺伝子座 *ahl3* の特定

○宮坂 勇輝^{1,2}、鈴木 沙理¹、石井 里絵¹、高田 豊行³、城石 俊彦³、日比野 浩²、木南 凌²、吉川 欣亮¹
(¹東京都医学総合研究所、²新潟大学大学院、³国立遺伝学研究所)

若手優秀発表賞V

16:42 ~ 17:06

座長 山田靖子 (国立感染症研)

O-12 炎症性大腸炎の病態形成における Dectin-1 の新規の役割解析

○唐 策^{1,2}、神谷 知憲³、角木 基彦¹、大島 健志朗⁴、服部 正平⁴、岩倉 洋一郎^{1,2,3,4}

(¹東京理科大学生命医科学研究所、²科学技術振興機構CRESTプログラム、³東京大学大学院理学系研究科、⁴東京大学大学院新領域創成科学研究科)

O-13 高病原性鳥インフルエンザウイルスの霊長類感染モデル系の樹立および水禽由来ウイルスの病原性の解析

○藤幸 知子¹、米田 美佐子¹、安井 文彦²、倉石 武³、服部 正策³、権 賢貞¹、宗片 圭祐³、木曾 有里¹、喜田 宏⁴、小原 道法³、甲斐 知恵子¹

(¹東京大学医科学研究所実験動物研究施設、²東京都医学総合研究所、³東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設、⁴北海道大学大学院獣医学研究科)

若手優秀発表賞VI

17:06 ~ 17:30

座長 伊藤 守 (実中研)

O-14 ヒトアポリポ蛋白A-IIは動脈硬化を抑制する：新しいトランスジェニックウサギモデルの開発及び応用

○王 瑤¹、新見 学¹、西島 和俊²、Ahmed Bilal Waqar¹、于 イン³、小池 智也³、北嶋 修司²、範 江林¹

(¹山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学講座、²佐賀大学総合分析実験センター、³神戸大学大学院医学研究科付属動物実験施設)

O-15 血管内皮細胞を可視化するためのFlk1-GFPおよびFlt1-tdsRed BAC トランスジェニックマウスの作製

○松本 健¹、浅見 拓哉¹、高橋 智^{1,2}、依馬 正次^{1,2}

(¹筑波大学医学医療系生命システム医学専攻解剖学発生学研究室、²筑波大学生命科学動物資源センター)

5月15日(水)

第2会場(中ホール300)

口頭発表II

行動

14:30 ~ 15:18

座長 吉原 亨 (金沢大)

O-16 マウスモデルを用いたDOHaD仮説の実証2：母体低栄養が新生仔の行動表現型に与える影響

○古瀬 民生¹、幸田 尚²、串田 知子¹、柏村 実生¹、山田 郁子¹、金田 秀貴¹、小林 喜美男¹、石野 史敏²、古市 貞一³、久保田 健夫⁴、若菜 茂晴¹

(¹理研BRC日本マウスクリニック、²東京医科歯科大学・難治疾患研究所・エビジェネティクス分野、³東京理科大学・理工学部・応用生物科学科・分子神経科学研究室、⁴山梨大学・医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

O-17 モーションキャプチャ技術を用いたHuggerミュータントマウスの歩行解析

○太田 聡史¹、池上 洋介²、鮎澤 光²、村井 昭彦²、平澤 謙章²、吉松 昭洋²、吉木 淳²、中村 仁彦²

(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²東京大学)

O-18 2種類のRorb自然突然変異マウスの組織および行動学的表現型

○村上 亜弓¹、澤田 和彦²、廣瀬 美和²、目加田 和之¹、中田 初美¹、門田 雅世¹、綾部 信哉¹、太田 聡史¹、小幡 裕一¹、吉木 淳¹

(¹理研バイオリソースセンター、²つくば国際大学)

O-19 脱雌性化ラットの交尾行動およびロードーシスにおける神経内分泌学的解析

○阿其 拉図、神長 亜紀、中田 友明、横須賀 誠、斎藤 徹

(日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科)

ライブイメージング

15:18 ~ 15:54

座長 阿部訓也 (理研BRC)

O-20 マウス非侵襲近赤外蛍光2カラー3次元イメージング

○三輪 佳宏¹、田中 順子¹、杉山 結香²、坂口 翔太²
(¹筑波大学医学医療系分子薬理学、²筑波大学大学院人間総合科学研究科)

O-21 生物発光イメージングを用いた膵β細胞および肝内インスリン遺伝子発現の可視化

○大石 久史^{1,2}、勝又 斗紀夫^{1,2}、関口 有佳里^{1,2}、長崎 はるか^{1,2}、Dhouha Daassi¹、依馬 正次^{1,2}、工藤 崇^{1,2}、高橋 智^{1,2}

(¹筑波大学医学医療系解剖学発生学研究室、²生命科学動物資源センター)

- O-22 マウス初代接着性細胞におけるミトコンドリア核様体の挙動解析
山口 潤也^{1,2}、島貫 碧¹、米川 博通¹、○設楽 浩志^{1,2}
(¹東京都医学総合研究所遺伝子改変動物室、²筑波大学大学院生命環境科学研究科)

生理

15:54 ~ 16:18 座長 勝田新一郎 (福島県立医大)

- O-23 ラットにおける加齢に伴う心筋カリウムチャネル発現量の変化と心房細動誘発性に関する検討
○伊藤 公一、小島 由紀子、桑原 正貴、局 博一
(東京大学大学院農学生命科学研究科)
- O-24 食餌制限による臓器微量元素量の変動
○小澤 裕介¹、戸田 年彦¹、小林 慶司^{1,2}、吉田 和哉³、倉本 和直⁴、野尻 英俊²、清水 孝彦^{1,4}
(¹千葉大学先進加齢医学、²順天堂大学医学部整形外科学、³ら・べるびい予防医学研究所、⁴東京都健康長寿医療センター)

生殖工学 I

16:18 ~ 16:54 座長 鬼頭靖司 (放医研)

- O-25 自然交配により繁殖困難な遺伝子改変マウス系統への生殖工学技術の応用
○中牟田 裕子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- O-26 マウス二細胞期胚の冷蔵保存における胚保存培地中 pH が胚の発生能に及ぼす影響
○堀越 裕佳、石束 祐太、酒匂 一仁、中尾 聡宏、吉本 英高、坂井 裕輝、前田 佳子、廣瀬 優美子、武氏 志保里、竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野)
- O-27 微小環境を利用したマウス体外受精に必要な精子数の検討
○長谷川 歩未、持田 慶司、小倉 淳郎
(理研 BRC)

遺伝子工学

16:54 ~ 17:30 座長 伊川正人 (大阪大)

- O-28 受精卵への iCre mRNA 注入によるターゲットトランスジェネシス法 (PITT 法) の効率改善
○大塚 正人¹、三浦 浩美¹、佐藤 正宏²、木村 穰¹
(¹東海大学医学部基礎医学系、²鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター)

- O-29 再生医学研究用ツールのための全身性クサビラオレンジ発現マウス開発の試み
○橋本 晴夫¹、上迫 努¹、山本 真史¹、香川 貴洋¹、川井 健司¹、中村 雅登²、末水 洋志¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²東海大学)

- O-30 TAL エフェクターヌクレアーゼ (TALENs) を用いたノックアウトラット作製技術
○金子 武人¹、佐久間 哲史²、山本 卓²、芹川 忠夫¹、真下 知士¹
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻)

多能性幹細胞・着床

17:30 ~ 17:54 座長 本多 新 (宮崎大)

- O-31 Klf5 による多能性幹細胞の維持機構
○浅見 拓哉¹、松本 健¹、全 孝静¹、高橋 智^{1,2,3}、依馬 正次^{1,2,4}
(¹筑波大学大学院人間総合科学研究科解剖学・発生学研究室、²筑波大学生命科学動物資源センター、³科学技術振興機構 CREST、⁴科学技術振興機構 さきがけ)
- O-32 マウスクローン胚における遺伝子発現異常は着床後の胚胎外組織においては改善されている
○平澤 竜太郎、的場 章悟、井上 貴美子、小倉 淳郎
(理化学研究所バイオリソースセンター)

5月15日 (水)
第3会場 (中会議室 201)

口頭発表Ⅲ

遺伝 I

14:30 ~ 15:06 座長 高田豊行 (国立遺伝研)

- O-34 マウス第2染色体上の体重・肥満 QTL が存在するコンジェニック領域のエクソーム解析
○石川 明
(名古屋大学大学院生命農学研究科)
- O-35 MSM/Ms 系統における皮膚がん抵抗性遺伝子座のコンジェニックマッピングとアレルインバランス解析
○奥村 和弘¹、齋藤 慈¹、佐藤 美穂¹、宮坂 勇輝²、三浦 郁生³、若菜 茂晴³、木南 凌²、若林 雄一¹
(¹千葉県がんセンター研究所実験動物研究室、²新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御講座分子生物学分野、³理化学研究所 BRC マウス表現型解析開発チーム)

- O-36 繁殖低下症を示すB10.M系統マウス精子頭部形態異常遺伝子座の詳細マッピング
○後藤 英夫¹、平渡 啓太郎^{1,2}、半澤 直人²、三浦 郁生³、若菜 茂晴³
(¹農業生物資源研究所、²山形大学、³理化学研究所BRC)

遺伝II

15:06 ~ 15:54 座長 横井伯英 (神戸大)

- O-37 ラット頭巾斑 (hooded) 変異の同定
○庫本 高志、中西 聡、Birger Voigt、芹川 忠夫
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
- O-38 *Foxe3rct* マウスの白内障発症を修飾する遺伝子群の同定
○和田 健太^{1,2}、斎藤 潤一²、渡部 桂²、島貫 碧²、設楽 浩志²、吉川 欣亮²
(¹東京農業大学生産学部、²東京都医学総合研究所)
- O-39 マウス *t*-complex 致死変異より同定された *Vps52* の発生制御遺伝子としての役割
○杉本 道彦¹、近藤 昌代¹、廣瀬 美智子²、鈴木 操⁴、目加田 和之³、小倉 淳郎²、Karen Artzt⁵、阿部 訓也¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンター・動物変異、²遺伝工学、³実験動物、⁴熊本大学CARD、⁵テキサス大学オースチン校)
- O-40 マウス垂種間ゲノム多型を利用したアレル発現量解析
○高田 豊行¹、近藤 伸二²、阿部 貴志³、清澤 秀孔⁴、豊田 敦⁵、藤山 秋佐夫⁵、城石 俊彦¹
(¹国立遺伝学研究所哺乳動物遺伝研究室、²情報・システム研究機構新領域融合研究センター、³新潟大学工学部情報工学科、⁴高知大学医学部、⁵国立遺伝学研究所比較ゲノム解析研究室)

遺伝III

15:54 ~ 16:30 座長 庫本高志 (京都大)

- O-41 新規バイオリソース Recombinant Sperm Bank の構築
○水品 洋一^{1,2}、高田 豊行¹、岡垣 郁香²、小林 比呂登²、中澤 博美²、福永 加奈美²、渡辺 憲史²、城石 俊彦¹
(¹国立遺伝学研究所、²ジェー・エー・シー)
- O-42 C57BL/6 垂系統間の遺伝子マッピングシステムの構築とその有用性
○三浦 郁生¹、篠木 晶子¹、臼田 大輝¹、梶屋 啓志¹、Vivek Kumar²、柳沢 正史^{2,3}、若菜 茂晴¹
(¹理研バイオリソースセンター、²テキサス大学サウスウエスタン医学センター、³筑波大学分子行動科学研究コア)

- O-43 次世代型ジーンターゲットシステム(RGDMS)法を用いた遺伝子間相互作用研究への試み
○福村 龍太郎、小瀧 逸人、村田 卓也、牧野 茂、中井 祐治、石塚 祐一、権藤 洋一
(理化学研究所BRC新規変異マウス研究開発チーム)

遺伝IV (ミトコンドリア)

16:30 ~ 16:54 座長 権藤洋一 (理研BRC)

- O-44 培養時間とマウス精子ミトコンドリアDNA量の関係
○長尾 恭光¹、堀居 拓郎³、太田 恵理子²、小栗 清美¹、笠嶋 克己²、畑田 出穂³、徳永 智也⁴、今井 裕⁵、國田 智¹、遠藤 仁司²
(¹自治医科大学実験医学センター、²自治医科大学機能生化学講座、³群馬大学生体情報ゲノムリソースセンター、⁴(独)生物資源研究所、⁵京都大学大学院農学研究科応用生物科学)
- O-45 1日の時間変化による組織ミトコンドリアDNA量の解析
○島貫 碧¹、米川 博通¹、設楽 浩志^{1,2}
(¹東京都医学総合研究所遺伝子改変動物室、²筑波大学大学院生命環境系)

遺伝V (エピジェネティクス)

16:54 ~ 17:30 座長 真下知士 (京都大)

- O-46 129 マウス系統の高度ゲノム可塑性に関する研究
○井上 貴美子^{1,2}、上村 悟氏^{1,2}、水谷 英二^{1,3}、池田 理恵子^{1,2}、沼田 興治¹、的場 章悟¹、越後貫 成美¹、阿部 訓也^{1,2}、小倉 淳郎^{1,2}
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²筑波大学大学院生命環境科学研究科、³山梨大学生命環境学部生命工学科)
- O-47 バルプロ酸投与をモデルとしたエピジェネティックな遺伝子発現制御による脊椎形成異常の解析
○谷口 真沙美¹、阿部 幸一郎¹、檜山 明彦²、酒井 大輔²、持田 譲治²
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東海大学医学部外科学系整形外科学)
- O-48 胎盤特異的インプリンティング遺伝子における *Jmjd3* の機能解析
川口 隆之、○成瀬 智恵、柴田 進和、浅野 雅秀
(金沢大学学際科学実験センター遺伝子改変動物分野)

遺伝VI

17:30 ~ 18:06 座長 佐々木宣哉 (北海道大)

- O-49 難聴責任遺伝子 *whirlin* の2つのアイソフォームの異なった発現制御
○安田 俊平¹、Steve Brown²、吉川 欣亮¹
(¹東京都医学総合研究所、²MRC)

O-50 大腸癌抑制タンパク質APCと大腸炎関連タンパク質DLG5との相互作用

○吉見 一人¹、田中 卓二²、芹川 忠夫¹、庫本 高志¹
(¹京都大学医学研究科附属動物実験施設、²東海細胞研究所)

O-51 β-カテニン遺伝子にC429Sミスセンス不妊モデルマウス系統における生存力の検討

○村田 卓也、石塚 祐一、中井 祐治、牧野 茂、福村 龍太郎、権藤 洋一
(理研バイオリソースセンター新規変異マウス研究開発チーム)

O-55 尾部退行症候群の疾患モデル動物であるDanforth's short tail変異マウスの解析

○仙波 圭¹、荒木 喜美¹、山川 璃恩¹、佐藤 友映¹、須田 博子¹、中原 舞¹、牟田 真由美¹、山田 源¹、中潟 直己¹、飯田 有俊²、池川 志郎²、中村 祐輔³、荒木 正健¹、阿部 訓也⁴、山村 研一¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター、²理化学研究所・ゲノム医科学研究センター、³東京大学医科学研究所、⁴理化学研究所・バイオリソースセンター)

O-56 ラットにおいて優性遺伝する脊椎形成異常を引き起こすOuneの原因遺伝子同定とその機能解析

○阿部 幸一郎¹、鶴見 東志子²、高松 信彦³、石川 久美子¹、今井 賢治¹、芹川 忠夫²、真下 知士²
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²京都大学大学院医学研究科、³北里大学理学部生物科学科)

5月15日(水)
第4会場(中会議室406)

口頭発表Ⅳ

疾患モデルⅠ

14:30 ~ 14:54 座長 古市達哉(岩手大)

O-52 ヒト疾患の新規モデルマウスを探索するためのワークフローの開発

○田中 信彦、茂木 浩未、鈴木 智広、金田 秀貴、三浦 郁生、山田 郁子、古瀬 民生、小林 喜美男、土岐 秀明、井上 麻紀、美野輪 治、野田 哲生、若菜 茂晴、榎屋 啓志
(理化学研究所バイオリソースセンター)

O-53 マウス・ラット表現型から疾患を推論するソフトウェアの開発

○榎屋 啓志¹、古崎 晃司²、高田 豊行³、真下 知士⁴、若菜 茂晴¹、大江 和彦⁵、溝口 理一郎⁶
(¹理研バイオリソースセンター、²大阪大学・産業科学研究科、³遺伝研・哺乳動物、⁴京都大学大学院・医学研究科、⁵東京大学大学院・医学研究科、⁶北陸先端科学技術大学院大学・知識科学研究科)

疾患モデルⅡ

14:54 ~ 15:30 座長 田村 勝(国立遺伝研)

O-54 DCIR欠損マウスを用いたC型レクチン受容体による骨代謝制御機構の解明

○海部 知則^{1,2}、丸橋 拓海³、馬 光宇⁴、矢部 力朗¹、妹尾 彬正³、岩倉 洋一郎^{1,2}
(¹東京理科大学生命医科学研究科、²戦略的創造研究推進事業(CREST)、³東京大学、⁴中国河北医科大学第四病院 血液内科)

疾患モデルⅢ

15:30 ~ 16:06 座長 角田 茂(信州大)

O-57 ナカノマウスにおける白内障はコプロポルフィリノーゲン酸化酵素遺伝子の活性低下型突然変異に起因する

○森 政之¹、後藤 紗希²、竹谷 茂²、日合 弘³、樋口 京一¹
(¹信州大学大学院医学系研究科加齢生物学講座、²京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科応用生物学部門、³京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター悪性制御ラボ)

O-58 NOD/Shiマウスの先天性難聴発症責任遺伝子の同定

○鈴木 沙理、小原 央、安田 俊平、吉川 欣亮
(東京都医学総合研究所・哺乳類遺伝PT)

O-59 ホルモン療法耐性前立腺癌の進行を司る新たな癌増悪因子「Wnt5a」の同定

○松本 高広¹、高橋 さゆり²、渡邊 資之²
(¹徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部動物資源研究部門、²東京大学分子細胞生物学研究所)

疾患モデルⅣ

16:06 ~ 16:30 座長 大野民生(名古屋大)

O-60 2型糖尿病感受性遺伝子Cdkal1の糖代謝における機能解析

○高梨 理絵子¹、岡村 匡史^{1,2}、清水 有紀子¹、後藤 元人¹、秋山 康一³、加藤 規弘³
(¹(独)国立国際医療研究センター研究所動物実験施設、²感染症制御研究部、³遺伝子診断治療開発研究部)

O-61 新規肥満性2型糖尿病モデルZucker fatty diabetes mellitus (ZFD) ラットの確立と表現型解析

○横井 伯英¹、星野 雅行²、日高 志保美³、別府 正悠³、星川 律子³、河田 昭彦⁴、清野 進^{1,3}
(¹神戸大院・医・分子代謝医学、²(株)星野試験動物飼育所、³神戸大院・医・細胞分子医学、⁴日本エスエルシー株式会社)

疾患モデルV

16:30 ~ 17:18

座長 喜多正和 (京都府立医大)

O-62 インターロイキン-1 受容体2型欠損マウスにおけるコラーゲン誘導関節炎の増悪化

○清水 謙次^{1,2}、角田 茂²、溝呂木 暁彦²、宝来 玲子²、中嶋 明子²、岩倉 洋一郎^{1,2}

(¹東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門、²東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センター)

O-63 ヒトIL-3/GM-CSF トランスジェニックNOGマウスを用いたヒトアレルギーモデルの開発

○伊藤 亮治¹、高橋 武司¹、片野 いくみ¹、川井 健司¹、布村 聡²、羅 智靖²、相磯 貞和³、伊藤 守¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²日本大学医学部分子免疫学教室、³慶応義塾大学医学部解剖学教室)

O-64 アトピー性皮膚炎マウス薬効評価系におけるマーカー：DNAマイクロアレイ/トランスクリプトミクス解析

○光永 綾子^{1,2}、磯和 弘一²、松浦 正樹²、中村 伸^{1,2}
(¹NPO法人プライメイト・アゴラ・バイオメディカル研究所、²(株)アイテックラボ)

O-65 ブタc-kitに対するモノクローナル抗体作製と性状解析

○大島 志乃^{1,2}、森 修弥²、重成 敦子¹、高須 正規³、今枝 紀明³、布村 聡⁴、田中 正史¹、北川 均³、安藤 麻子¹、亀谷 美恵²

(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東海大学医学部基礎医学系生体防御、³岐阜大学応用生物科学部獣医学講座、⁴日本大学医学部分子細胞免疫アレルギー学分野)

疾患モデルVI

17:18 ~ 18:06

座長 塩見雅志 (神戸大)

O-66 呼吸中枢における低酸素応答低下に起因する乳児期突然死マウスモデルの解析

○荒田 悟^{1,2}、中町 智哉^{1,3}、鬼丸 洋⁴、塩田 清二^{2,3}

(¹昭和大学遺伝子組換え実験室、²昭和大学動物実験施設、³昭和大学医学部第一解剖学教室、⁴昭和大学医学部第二生理学教室)

O-67 ヒト多発性嚢胞腎症モデル動物の有用性と必要性

○長尾 静子¹、釘田 雅則¹、吉原 大輔¹、山口 太美雄²

(¹藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究センター、²マニトバ大学人類生態学部)

O-68 WHHLMIウサギへの冠攣縮誘導による急性冠症候群の誘発

○小池 智也¹、伊藤 隆¹、山田 悟士¹、国吉 信恵¹、ユウ イン¹、小林 努¹、塩見 雅志^{1,2}

(¹神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²神戸大学大学院医学研究科疾患モデル動物病態生理学)

O-69 妊娠高血圧モデルマウスにおける乳腺発達の解析

○村田 知弥^{1,2}、石田 純治^{1,2}、深水 昭吉^{1,2}

(¹筑波大学生命環境科学研究科、²生命領域学際研究センター)

5月17日(金)

第2会場(中ホール300)

口頭発表V

International Session

13:15 ~ 14:03

座長 J. K Seong (The Seoul National University)

O-70 Understanding type II diabetes using mutant mice

○Shuai Chen¹, Hong Yu Wang¹, Bingxian Xie¹, Chao Quan¹, Qiaoli Chen¹, Kei Sakamoto^{2,3}, Carol Mackintosh^{2,4}

(¹MOE Key Laboratory of Model Animal for Disease Study, Model Animal Research Center, Nanjing University, ²MRC Protein Phosphorylation Unit, College of Life Sciences, University of Dundee, Dundee DD1 5EH, Scotland, U.K., ³Nestle Institute of Health Sciences SA, Campus EPFL, Quartier de l'Innovation, Batiment G, 1015 Lausanne, Switzerland, ⁴Division of Cell and Developmental Biology, College of Life Sciences, University of Dundee, Dundee DD1 5EH, Scotland, U.K.)

O-71 Current Status of National Laboratory Animal Center Taiwan

○Chi-Kuang Leo Wang

(National Laboratory Animal Center, National Applied Research Laboratories, Taiwan, R.O.C.)

O-72 Introduction of the Education Program for Animal Experiment in Seoul National University

○Byeong-cheol Kang^{1,2}, S.h. Seok¹, S.c. Yeom¹, J.h. Che¹, C.g. Park¹, H. Chang¹, K.h Lee¹

(¹Dept. Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital, ²College of Medicine, Seoul National University, Seoul)

O-97 Safety and Efficiency of Laser Assisted IVF in Mice

Ming-Wen Li, ○Kristy Kinchen, Kent Lloyd

(Murine Cryopreservation and Recovery Laboratory, Mouse Biology Program, University of California, Davis, USA)

JALAS International Award I

14:03 ~ 14:27 座長 Chi-Kuang Leo Wang
(National Laboratory Animal Center)

O-73 The Molecular Mechanism and Genetic Characteristics of an ENU-Induced Dilated Pupils Mouse Model

○Bing Chen^{1,2}, Ke Li², Fenli Zhang², Guoqin Zhai², Wen Gong², Sujing Qiang², Zhengfeng Xue^{1,2}

(¹Comparative Medicine Center, Yangzhou University, Jiangsu, Yangzhou, China, ²College of Veterinary Medicine, Yangzhou University, Jiangsu, Yangzhou, China)

O-74 A Persistent Level of Cisd2 Extends Healthy Lifespan and Delays Aging in Mice

○Wu CY¹, Chen YF⁵, Wang CH², Kao CH⁶, Zhuang HW¹, Chen CC⁷, Chen LK^{3,8}, Kirby R¹, Wei YH^{2,9}, Tsai SF^{1,5} and Tsai TF^{1,3,4,5}

(¹Department of Life Sciences and Institute of Genome Sciences, National Yang-Ming University,²Institute of Biochemistry and Molecular Biology, National Yang-Ming University, ³Aging and Health Research Center, National Yang-Ming University, ⁴VGH-YM Genome Research Center, National Yang-Ming University, ⁵Institute of Molecular and Genomic Medicine, National Health Research Institutes, ⁶Center of General Education, Chang Gung University, ⁷Institute of Biomedical Sciences, Academia Sinica, ⁸Center for Geriatrics and Gerontology, Taipei Veterans General Hospital, ⁹Department of Medicine, Mackay Medical College)

JALAS International Award II

14:27 ~ 15:03 座長 久原孝俊 (順天堂大)
Takatoshi Kuhara (Juntendo University)

O-75 Hematology Profiles in Anesthetized Pig-tailed Macaque (*Macaca nemestrina*) Differentiated by Age, Sex, and Type of Caging

○Permanawati¹, Yasmina A. Paramastri¹, Joko Pamungkas^{1,2}

(¹Primate Research Center, Bogor Agricultural University, Jalan Lodaya II No. 5, Bogor 16151, West Java, Indonesia, ²Faculty of Veterinary Medicine, Bogor Agricultural University, Jalan Agatis, Kampus Darmaga, Bogor West Java, Indonesia)

O-76 Mechanistic Insights into Ventricular Arrhythmic Properties in the Murine Scn5a+/- Model for Cardiac Arrhythmia

○Kamalan Jeevaratnam^{1,2}, Yanmin Zhang^{2,3}, Laila Guzadhur², Ming Lei³, Andrew Grace⁴, Christopher LH Huang^{1,4}

(¹Royal College of Surgeons Ireland-Perdana University, 43400 Serdang, Selangor, Malaysia, ²Physiological Laboratory, University of Cambridge, CB2 3EG Cambridge, United Kingdom, ³Institute of Cardiovascular Science Faculty of Medicine and Human Science, Manchester, United Kingdom, ⁴Department of Biochemistry, University of Cambridge, CB2 3EG Cambridge, United Kingdom)

O-77 Ostrich (*Struthio camelus*) Eggshell as a Xenograft for Immediate Alveolar Socket Preservation

○Patricia Diana S. Suiza, Mostafa L. Mehrafsha, Beverly A. Go, Javier A. Sotelo, Pearly P. Lim, Maria Jona D. Godoy

(School of Dentistry, Centro Escolar University, Manila, Philippines)

JALAS International Award III

15:03 ~ 15:27 座長 高橋英機 (理研 BSI)
Eiki Takahashi (RIKEN BSI)

O-78 RNA Editing of the IQ Domain in CaV1.3 Channels Modulates Their Ca²⁺-Dependent Inactivation

○Bao Zhen Tan^{1,2}, Hua Huang^{1,2}, Tuck Wah Soong^{1,2}

(¹Department of Physiology, Yong Loo Lin School of Medicine, ²NUS Graduate School for Integrative Sciences and Engineering)

O-79 The Role of Calcitonin Gene-related Peptide on the Increase in Transient Receptor Potential Vanilloid-1 Levels in Trigeminal Ganglion and Trigeminal Nucleus Caudalis Activation of Rat

○Duangthip Chatchaisak¹, Anan Srikiatkachorn², Supang Maneesri-le Grand³, Piyarat Govitrapong^{1,4}, Banthit Chetsawang¹

(¹Research Center for Neuroscience, Institute of Molecular Biosciences, Mahidol University, Salaya, Nakhonpathom, Thailand, ²Department of Physiology and ³Department of Pathology, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand, ⁴Center for Neuroscience and Department for Pharmacology, Faculty of Science, Mahidol University, Bangkok, Thailand)

5月17日(金)
第1会場(大ホール)

口頭発表VI

生殖工学II

13:15 ~ 13:39 座長 持田慶司(理研BRC)

O-80 精子構成タンパク質中チオール基の酸化がマウス精子の受精能に及ぼす影響

○中尾 聡宏、吉本 英高、石東 祐太、酒匂 一仁、坂井 裕輝、堀越 裕佳、前田 佳子、武氏 志保里、廣瀬 優美子、竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)

O-81 129系統マウス体外受精へのFERTIUP®マウス精子前培養培地/CARD MEDIUMマウス体外受精培地の応用

○梅野 智子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

生殖工学III

13:39 ~ 14:15 座長 安齋政幸(近畿大)

O-82 冷蔵輸送遺伝子改変マウス精巢上体尾部精子を利用した凍結胚の作製

○西村 愛美^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

O-83 熊本大学CARD-カリフォルニア大学デービス校間におけるマウス精巢上体尾部の冷蔵輸送

○近藤 朋子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、Kristy Kinchen³、Ming-Wei Li³、Kent Lloyd³、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社、³カリフォルニア大学デービス校マウスバイオロジープログラム)

O-84 冷蔵精子と凍結/融解未受精卵子を用いた体外受精

○吉本 英高、中尾 聡宏、石東 祐太、酒匂 一仁、坂井 裕輝、堀越 裕佳、前田 佳子、武氏 志保里、廣瀬 優美子、竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)

生殖工学IV

14:15 ~ 14:51 座長 松田潤一郎(医薬基盤研)

O-85 C57BL/6マウス凍結卵子および凍結精子を用いた体外受精における還元型グルタチオンの有用性

○石東 祐太、酒匂 一仁、中尾 聡宏、吉本 英高、坂井 裕輝、堀越 裕佳、前田 佳子、武氏 志保里、廣瀬 優美子、竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター資源開発分野)

O-86 C57BL/6マウス凍結精子における体外受精条件の最適化に関する基礎的検討

○竹尾 透、石東 祐太、酒匂 一仁、中尾 聡宏、吉本 英高、坂井 裕輝、前田 佳子、堀越 裕佳、廣瀬 優美子、武氏 志保里、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)

O-87 CARD体外受精法を用いた各種マウス系統の体外受精および得られた胚の凍結保存成績について

○土山 修治¹、福本紀代子^{1,2}、春口幸恵^{1,2}、近藤朋子^{1,2}、竹下由美^{1,2}、中牟田裕子^{1,2}、松永寛子^{1,2}、西村愛美^{1,2}、梅野智子^{1,2}、岩本まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、竹尾 透¹、中潟直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

5月17日(金)
第3会場(中会議室201)

口頭発表VII

実験手技・施設

13:15 ~ 14:03 座長 國田智(自治医科大)

O-88 内視鏡プローブを用いたマウスへの安定・安全な気管チューブ挿管と吸入麻酔の検討

○今野 兼次郎¹、小川 哲平²、畠山 美香³、塩谷 恭子⁴
(¹京都産業大学総合生命科学部、²株式会社夏目製作所、³株式会社AVS、⁴国立循環器病研究センター研究所)

O-89 実験動物用床敷の構造に関する比較検討

○宮川 誠
(帝京大学板橋キャンパス中央実験動物施設)

O-90 実験動物施設床面における塵埃除去方法の検討と掃除用具の開発

○野田 義博^{1,2}、竹迫 清之³、山崎 英男²、倉本 和直¹
(¹東京都健康長寿医療センター実験動物施設、²株式会社ラボテック、³シーエル研究所)

O-91 空気清浄装置と光触媒加工飼育ラック用いた飼養保管施設の環境衛生管理

○木村 透、柴田 紀子
(大学共同利用機関法人自然科学研究機構)

感染症・微生物・免疫 I

14:03 ~ 14:39 座長 林元展人(実中研)

O-92 クラリスロマイシン耐性ヘリコバクター・ピロリ感染症に対する生薬の抗菌効果

○喜多 正和¹、酉家 章弘²、今西 二郎²
(¹京都府立医科大学大学院医学研究科実験動物センター、²京都府立医科大学大学院医学研究科免疫・微生物学)

O-93 国内飼養マウスで高頻度に検出される *Helicobacter* sp. MIT01-6451 の分離培養と性状解析

○山中 仁木¹、末松 貴史²、大沢 牧子¹、水島 めぐみ¹、高木 利一^{1,3}、久保 憲昭¹、山本 直土¹、嶽本 剛平¹、大沢 一貴¹
(¹長崎大学先導生命科学研究支援センター比較動物医学分野、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科中央電子顕微鏡室、³日本エスエルシー BTセンター品質管理部)

O-94 CARバチルスのゲノムシーケンス解析

○池 郁生¹、梶田 亜矢子¹、吉木 淳¹、大久保 将人²、村田 武英²、大島 健志朗³、服部 正平³、小久保 年章⁴
(¹理研バイオリソースセンター実験動物開発室、²理研バイオリソースセンター遺伝子材料開発室、³東京大学オーミクス情報センター、⁴放射線医学総合研究所研究基盤センター)

感染症・微生物・免疫 II

14:39 ~ 15:03

座長 久和 茂(東京大)

O-95 フルベンダゾールによる *Aspiculuris tetraptera* 駆虫効果について

○都留 英美、溝渕 雅章、佐藤 美帆、延本 篤也、岡田 保志、久川 清仁、南 幸徳、津田 雅之
(高知大学総合研究センター動物実験施設)

O-96 レトロウイルス感受性に影響するマカク属サル *TRIM5* 遺伝子の多様性

○齊藤 暁¹、中山 英美²、塩田 達雄²、吉田 友教¹、東濃 篤徳¹、鈴木 紗織¹、川本 芳¹、明里 宏文¹
(¹京都大学霊長類研究所、²大阪大学微生物病研究所)

ポスター発表

奇数番号：5月15日(水) 13:15-14:15

偶数番号：5月16日(木) 15:45-16:45

管理・施設

P-1 国立長寿医療研究センター新実験動物施設棟の概要紹介

○小木曾 昇、尾前 哲也、高野 聡美
(独)国立長寿医療研究センター研究所)

P-2 飼育中に種々のストレスを受けたマウス糞便中の臭気分析

○斉藤 美佳子¹、佐久間 健治^{1,2}、林 進²、松岡 英明¹
(¹東京農工大学工学府生命工学専攻、²オリエンタル技研工業株式会社)

麻酔

P-4 マウスのイソフルラン吸入麻酔時におけるキャリアガス、流量及び濃度の検討

○桐原 由美子¹、武智 眞由美¹、黒崎 薫¹、小川 哲平²、齊藤 洋司³、小林 裕太^{1,4}、黒澤 努⁵
(¹島根大学総合科学研究支援センター実験動物分野、²(株)夏目製作所、³島根大学医学部麻酔科学講座、⁴島根大学医学部基礎看護学講座、⁵大阪大学医学部実験動物医学教室)

P-5 テレメトリーを用いたマウスおよびラットに対するイソフルラン麻酔濃度の相違における生理的变化の検討

○若井 淳¹、片平 清昭²、関口 美穂¹
(¹福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設、²医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター)

P-6 マウス3系統における三種混合麻酔の麻酔効果に関する検討

○長沼 佑季、森井 清志、齋藤 友美、橋本 道子、小山 公成
(アステラスリサーチテクノロジー株式会社 動物管理部)

P-7 新規吸入曝露装置を用いたラット4週間吸入曝露試験における性能確認試験

○金澤 一央¹、宮林 厚¹、溝井 美穂²、安達 修一²、吉村 博之³
(¹柴田バイオテクノロジー株式会社、²相模女子大学大学院栄養科学研究科、³昭和大学薬学部)

代謝・加齢

P-8 再生医療評価系としての霊長類を用いたセルトラッキングシステムの開発

○伊藤 康世^{1,2}、鯉江 洋²、柴田 宏昭¹、岡林 佐知³、片貝 祐子³、大野 智恵子³、金山 喜一²、保富 康宏¹、揚山 直英¹
(¹医薬基盤研究所・霊長類医学科学研究センター、²日本大学生物資源科学部獣医学科・獣医生理学研究室、³予防衛生協会)

P-9 心拍変動解析を用いたカニクイザルにおける加齢性変化

○揚山 直英¹、鯉江 洋²、川嶋 晴子²、岡林 佐知¹、金山 喜一²、山海 直¹、保富 康宏¹
(¹医薬基盤研究所霊長類医学科学研究センター、²日本大学生物資源科学部)

P-10 亜鉛トランスporter欠損マウスを用いた亜鉛による骨量制御機構の解明

○古市 達哉¹、市村 鋭¹、佐々木 俊¹、北條 慎太郎²、深田 俊幸^{2,3}
(¹岩手大学獣医・実験動物、²理研RCAI・サイトカイン制御、³大阪大大学院・免疫アレルギー医学)

P-11 卵巣摘出マウスの微量血漿中および糞中の性ホルモン測定

○酒井 悠輔¹、坂本 信介¹、森田 哲夫²、篠原 明男¹、中原 桂子²、村上 昇²、越本 知大¹
(¹宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、²宮崎大学農学部)

P-12 卵巣摘出ラットにおける肥満症成立機序について

○寺田 節、今 弘枝、篠田 元扶
(獨協医科大学実験動物センター)

P-13 卵巣摘出後のラットにみられる肥満症の病態生理について

○今 弘枝¹、金井 孝夫²、寺田 節¹、篠田 元扶¹
(¹獨協医科大学実験動物センター、²東京女子医科大学実験動物中央施設)

P-14 ラットにおける採血条件が血液パラメーターに与える影響

○小松 加代子、鈴木 勝也、原 裕一、小林 稔秀、金子 公幸
(株)ヤクルト本社中央研究所安全性研究部)

- P-15 輸送ストレス時におけるビーグル犬の血清中アルカリフォスファターゼ濃度の変化
○櫻井 康博¹、西浦 一平¹、辰己 光義¹、平野 好実¹、矢作 晃一¹、越智 武洋¹、須藤 有二¹、小山 公成¹、萩田 裕一¹、藤本 義勝^{1,2}、北村 伸二²、中村 友也²、山田 遊²、谷本 匡良²、仁科 典子³
(¹アステラスリサーチテクノロジー動物管理部、²ケー・エー・シー、³アステラス製薬安全性研究所)

神経系・行動・表現型

- P-16 子宮内エレクトロポレーション法を用いたマウス胎仔大脳皮質への遺伝子の導入
○金 泰延¹、高橋 英機¹、下郡 智美²、板倉 智敏³
(¹理化学研究所脳科学総合研究センター動物資源開発支援ユニット、²理化学研究所脳科学総合研究センター視床発生研究チーム、³理化学研究所脳科学総合研究センター研究基盤センター)
- P-17 Methylene blue は行動学的障害を改善しアルツハイマー様病態を軽減する：PSAPP モデルマウスによる検討
○小山 直基、森 隆
(埼玉医科大学総合医療センター研究部)
- P-18 ラクトシルセラミド合成に関わるガラクトース転移酵素群欠損マウスの行動解析と脳の組織学的・生化学的解析
○吉原 亨^{1,2}、佐武 寛之²、鈴木 紘史²、神村 栄吉²、沖野 望³、伊東 信³、徳田 典代⁴、古川 圭子⁴、古川 鋼一⁴、浅野 雅秀²
(¹金沢大学子どものこころの発達研究センター、²金沢大学学際科学実験センター、³九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門、⁴名古屋大学医学系研究科)
- P-19 マウス表現型標準解析ツールRIKEN-Modified SHIRPAの普及活動
○鈴木 智広、小澤 恵代、廣田 和之、池田 恭子、榎屋 啓志、若菜 茂晴
(^独理化学研究所バイオリソースセンター)
- P-20 IMPC行動表現型解析データにおける各表現型解析センター間の比較
○山田 郁子¹、古瀬 民生¹、串田 知子¹、柏村 実生¹、鈴木 智広¹、榎屋 啓志²、金田 秀貴¹、小林 喜美男¹、三浦 郁生¹、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム、²理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型知識化研究開発ユニット)

病理・病態・形態解析技術

- P-21 2型糖尿病モデルdb/dbマウスにおける齧蝕発現と唾液腺の関連性について
○寺山 由依¹、尾崎 清和¹、三井 結加¹、吉木 淳²、松浦 哲郎¹
(¹摂南大学薬学部、² (^独)理化学研究所バイオリソースセンター)

- P-22 マウスの胸腔内にみられた巨大腫瘍
○金井 孝夫、上芝 秀博、大西 直子、宮川 佳彦、比留川 和里、山中 正史、米山 守
(東京女子医科大学実験動物中央施設)
- P-23 マイクロCTを用いたマウス胎仔の解析
○平岩 典子¹、石本 陸²、安江 博^{2,3}
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²マース東研X線検査株式会社、³つくば遺伝子研究所)
- P-24 変異体マウスを用いた翻訳伸長因子遺伝子欠損の血液学的影響
庄司 陽平¹、久保田 悠一^{1,2}、井上 克枝²、久保田 健夫³、三宅 邦夫³、葛西 宏威⁴、武川 克志¹、○手塚 英夫¹
(¹山梨大学総合分析実験センター、²山梨大学医学部臨床検査医学講座、³山梨大学医学部環境遺伝医学講座、⁴山梨大学医学部微生物学講座)
- P-25 p22phox欠損の導入によってSHRSPの心血管病変は増悪する
○元永 早希恵¹、Mohammed Zubaerul Ferdaus¹、Gandolgor Tsend-ayush¹、大原 浩貴¹、森 政之²、並河 徹¹
(¹島根大学医学部病態病理学、²信州大学大学院医学系研究科加齢生物学講座)
- P-26 BOP誘発ハムスター膵管発がん過程におけるMUC1の発現、細胞内分布の変動とその意義
○今井 俊夫
(国立がん研究センター研究所動物実験支援施設)
- P-27 *Clostridium perfringens* が分離されたコモンマーモセット (*Callithrix jacchus*) のガス壊疽の1症例
○保田 昌彦^{1,2}、井上 貴史³、植野 昌未¹、森田 華子¹、川井 健司²、林元 展人¹、伊藤 豊志雄³
(¹公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²公益財団法人実験動物中央研究所病理解析センター、³公益財団法人実験動物中央研究所マーモセット研究部)
- P-28 コモンマーモセットの慢性嘔吐を主徴とする十二指腸腔拡張症例
○井上 貴史¹、保田 昌彦¹、橋本 菜名子¹、山崎 未来^{1,2}、林元 展人¹、岡原 則夫¹、佐々木 えりか¹、伊藤 豊志雄¹
(¹ (公財) 実験動物中央研究所、² (株) ジェーエーシー)

繁殖・生殖工学・ES細胞

- P-29 異なる可視光線がマウスの繁殖に与える影響
○加藤 秀樹、木村 二郎、高林 秀次
(浜松医科大学医学部附属動物実験施設)

- P-30 マウスにおけるプロゲステロンの単回投与による分娩遅延効果
○伊藤 恒賢¹、鈴木 沙知^{1,2}、正脇 健次^{1,2}、尾崎 順子¹、福田 直樹¹、大和田 一雄¹
(¹山形大学医学部附属動物実験施設、²(株)ジェー・エー・シー)
- P-31 体外成熟卵子を用いた各種培地が細胞内酸化ダメージに与える影響
○安齋 政幸¹、北原 直弥²、松崎 ひかる²、坂山 浩彬²、筒井 れな²、東 雅志³、細井 美彦^{1,2}
(¹近畿大学先端技術総合研究所、²近畿大学生物理工学部、³(株)紀和実験動物研究所)
- P-32 マウス凍結未受精卵を用いた産子作製システムの確立
○中潟 直己¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、石束 祐太¹、竹尾 透¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- P-33 マウス未受精卵の超低温保存方法の検討
○江藤 智生¹、神田 暁史²、上迫 努¹、外丸 祐介²
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²広島大学自然科学研究支援センター)
- P-34 マウス卵巣における原始卵胞の休眠維持と活性化の制御機構
○鈴木 仁美、金井 正美
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科疾患モデル動物解析学分野)
- P-35 繁殖低下症を示すB10.M系統マウス精子のコメットアッセイによる機能的解析
○平渡 啓太郎¹、半澤 直人²、後藤 英夫¹
(¹農業生物資源研究所、²山形大学)
- P-36 マウス精巣上体精子の受精能に及ばず resveratrol の効果
○鈴木 治、小浦 美奈子、野口 洋子、山田-内尾 こずえ、松田 潤一郎
(¹独) 医薬基盤研究所疾患モデル小動物研究室)
- P-37 室温保存した各種近交系マウス精子の受精能および発生能の比較
○中村 衣里¹、多田 昇弘^{1,2}
(¹順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター、²順天堂大学大学院アトピー疾患研究センター)
- P-38 マウス精巣上体尾部冷蔵保存液の冷蔵庫内での長期安定性試験
○松永 寛子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- P-39 冷蔵輸送された遺伝子改変マウスの精巣上体尾部由来凍結精子を用いた体外受精
○福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- P-40 遺伝子改変マウスの凍結/融解精子を用いた体外受精におけるCARD MEDIUMの有用性
○竹下 由美^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- P-41 野生由来マウス33系統の過排卵、体外受精、胚凍結および胚移植成績
○持田 慶司、長谷川 歩未、平岩 典子、大高 直樹、古谷 貴史、山口 真輝、濱 大樹、伊集院 麻衣子、田熊 究一、高橋 仁美、阪口 真美子、橋本 美知子、目加田 和之、吉木 淳、小倉 淳郎
(理化学研究所バイオリソースセンター)
- P-42 セミオートマニピュレータを用いたICSI操作について
○上迫 努¹、田中 伸明²、日置 恭司¹、江藤 智生¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²日本精工株式会社)
- P-43 2i/LIF培地で長期培養したマウスES細胞のキメラ形成能の検討
○神田 暁史、外丸 祐介
(広島大学自然科学研究支援開発センター)
- P-44 ノックアウトマウス作製の効率化を目指したC57BL/6由来ES細胞の樹立とその応用
○藤原 祥高¹、江崎 陽子²、西岡 佐紀²、かせ田 一宏¹、井上 直和¹、伊川 正人^{1,2}、岡部 勝^{1,2}
(¹大阪大学微生物病研究所、²NPO法人 発生工学研究会)

- P-45 単為発生胚に由来するラットES細胞株の樹立
○平林 真澄¹、田村 千尋¹、後藤 哲平^{1,2}、三宝 誠¹、保地 真一³
(¹生理学研究所行動・代謝分子解析センター、²名古屋大学大学院生命農学研究科、³信州大学繊維学部)
- P-46 ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」(NBRP-Rat)で保存されている凍結胚の品質評価
○竹鶴 裕亮、真下 知士、庫本 高志、金子 武人
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
- P-47 平衡ガラス化法によるラット胚の凍結保存
佐々木 智世¹、平川 猛¹、北山 みずほ¹、越本 知大²、松川 和嗣¹、葛西 孫三郎¹、○枝重 圭祐¹
(¹高知大学農学部、²宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)
- P-48 ウサギの精子および胚凍結における不凍タンパク質の効果
○西島 和俊¹、田中 麻衣¹、酒井 悠輔²、越本 知大²、森本 正敏³、渡辺 照男¹、範 江林⁴、北嶋 修司¹
(¹佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門、²宮崎大学フロンティア科学実験総合センター生物資源分野、³熊本保健科学大学リハビリテーション学科、⁴山梨大学医学工学総合研究部分子病理学講座)
- P-49 コモンマーマセットの体外受精における射出精子の採取手段および調整方法の検討
○島山 照彦¹、信清 麻子²、西本 瞳²、野尻 智子²、外丸 祐介²
(¹広島大学技術センター、²広島大学自然科学研究支援開発センター)
- P-50 コモンマーマセットの経膈人工授精法の開発研究
○高林 秀次、鈴木 結子、加藤 秀樹
(浜松医科大学医学部附属動物実験施設)
- P-51 血中ホルモンの測定による人工授精時期の検討
○冷岡 昭雄¹、成田 勇人¹、前島 正雄¹、東郷 睦¹、小野 文子¹、下澤 律浩²
(¹社団法人 予防衛生協会、²独立行政法人 医薬基盤研究センター)
- P-52 室内飼育環境下におけるカニクイザルのパートナー選択の特性
○吉田 麻衣子^{1,2}、小山 高正¹、山海 直²
(¹日本女子大学大学院心理学研究科、²医薬基盤研究センター)
- P-53 コモンマーマセット初期胚における遺伝子発現パターンの変化
○後原 綾子¹、岡野 栄之²、佐々木 えりか^{1,2}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²慶応大学医学部生理学教室)

遺伝解析・遺伝子機能

- P-54 標的遺伝子ノックダウンによるII型糖尿病モデルマーマセット作出の試み
○高橋 司^{1,2}、前田 拓志²、久下 壮³、佐藤 賢哉¹、佐々木 えりか^{1,2}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²慶應義塾大学医学部、³株式会社ワールドインテック)
- P-55 脳梁欠損の原因となる新規Cables1遺伝子変異の同定
○水野 聖哉、Huong Tra Dinh Thi、飯島 沙織、杉山 文博、八神 健一
(筑波大学生命科学動物資源センター)
- P-56 野生由来ヘテロジニアスストックマウス作製過程におけるアレル頻度のシミュレーション
○小出 剛¹、高野 敏行²、後藤 達彦^{1,3}
(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²京都工芸繊維大学ショウジョウバエ遺伝資源センター、³情報・システム研究機構新領域融合研究センター)
- P-57 C57BL/6N亜系統特異的SNPマーカーの整備
○目加田 和之、廣瀬 真由、小幡 裕一、吉木 淳
(理化学研究所バイオリソースセンター)
- P-58 第18染色体上の断片がSHRSPの食塩感受性腎障害に関与する
○田中 勇磨、島田 大輝、Gandolgor Tsend-ayush、大原 浩貴、並河 徹
(島根大学医学部病態病理学講座)
- P-59 Taqman PCR法とSouthern blot hybridization法を用いた妊娠カニクイザル血清中胎児由来DNAの検出
○Lubna Yasmin¹、高野 淳一朗¹、永井 泰²、大月 純子²、山海 直¹
(¹独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医学研究センター、²永井クリニック)
- P-60 New phenotype of VDUP1 gene deficient mouse
○Nam Ki-hoan¹、Park Ji-seon^{1,2}、Kim Hae Rim¹、Kim Eun-kyoung¹、Byon Young-seop¹、Kang Jong-koo²、Kim Hyoung-chin¹
(¹Biomedical Mouse Resource Center, KRIBB, Chungbuk, Republic of Korea、²Laboratory animal medicine, College of Veterinary Medicine, Chungbuk National University, Cheongju, Republic of Korea)

微生物・感染症・免疫

- P-61 腸内細菌叢除去に伴うマウス盲腸粘膜内抗酸化酵素スーパーオキシドディスムターゼ活性の変化
○土橋 悠、阿久津 麻奈、藤平 篤志、天尾 弘実
(日本獣医生命科学大学応用生命科学部実験動物学教室)

- P-62 化学物質誘発気道過敏症検出法の開発
○西野 里沙子、福山 朋季、渡部 優子、黒澤 好、上田 英夫、小坂 忠司
(一般財団法人残留農薬研究所)
- P-63 ヒト免疫系再構築NOGマウスB細胞の性状解析
○森 修弥¹、嶋田 新¹、大島 志乃¹、岡田 義則²、安藤 潔³、亀谷 美恵¹
(¹東海大学医学部生体防御、²東海大学教育支援センター、³東海大学医学部血液腫瘍内科学)
- P-64 NOGマウスにおけるHeLa細胞生着能の定量的検討
○町田 一彦¹、草川 森士^{2,3}、澤田 留美²、安田 智^{2,3}、伊藤 守¹、堤 秀樹¹、佐藤 陽治^{2,3,4}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²国立医薬品食品衛生研究所、³公益財団法人先端医療振興財団、⁴名古屋市立大学大学院薬学系研究科)
- P-65 LAMP法によりマウス糞便から4微生物を一括検出する方法の検討
○花木 賢一¹、池 郁生²
(¹岩手医科大学医歯薬総合研究所実験動物医学研究部門、²理研BRC実験動物開発室)
- P-66 塩素系消毒薬のマウスノロウイルス不活化効果と消毒薬の飲水によるMNV排除およびMNV感染防御の試み
○滝本 一広¹、田原口 元子¹、酒井 宏治²、高木 弘隆³、山田 靖子¹
(¹国立感染症研究所動物管理室、²国立感染症研究所ウイルス第三部、³国立感染症研究所バイオセーフティ管理室)
- P-67 マウスノロウイルスの各種抗体検査およびPCR検査の感度と特異性
○國田 智¹、加藤 花名子²、亀田 周子³、石田 智子³、林元 展人³、高倉 彰³、杉山 文博²、八神 健一²
(¹自治医科大学実験医学センター、²筑波大学生命科学動物資源センター、³実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター)
- P-68 トリコモナス原虫に汚染されたSPFコロニーの清浄化
○尾崎 順子、伊藤 恒賢、大和田 一雄
(山形大学医学部附属動物実験施設)
- P-69 Helicobacter bilis 感染C3Hマウスに対する薬剤混合飼料による除菌
橋本 道子、○川村 卓也、水野 正仁、山田 梓、小山 公成
(アステラスリサーチテクノロジー株式会社・動物管理部)
- P-70 自然感染血清および実験感染血清を用いた蛍光マイクロビーズ法による抗体検査系の評価
○亀田 周子¹、石田 智子¹、田中 舞¹、佐藤 梓¹、國田 智²、加藤 花名子³、八神 健一³、林元 展人¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²自治医科大学実験医学センター、³筑波大学生命科学動物資源センター)
- P-71 合成DNAを陽性コントロールとして使用するPCR検査法の検討
○梶田 亜矢子、小川 ちいみ、結城 忍、吉木 淳、池 郁生
(理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室)
- P-72 T-RFLP解析に用いるラット腸内細菌叢データベースの構築
○植野 昌未¹、野津 量子¹、玉置 賢²、林元 展人¹
(¹(公財)実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²あすか製薬株式会社薬理研究部)
- P-73 イヌの不顕性ジアルジア症に対する薬剤療法の検討
○岸本 裕治、須田 朗子、岩田 晋吾、堤 俊輔、佐藤 靖
(大正製薬株式会社総合研究所安全性研究室)
- P-74 コモンマーモセットにおけるリアルタイムPCRを用いた免疫関連遺伝子発現解析
○北浦 一孝^{1,2}、藤井 克樹^{1,2}、松谷 隆治³、白井 顕治^{1,2}、鈴木 さつき⁴、高崎 智彦²、亀谷 美恵⁵、倉根 一郎²、鈴木 隆二¹
(¹(独)国立病院機構相模原病院臨床研究センター、²国立感染症研究所ウイルス第一部、³和歌山県立医科大学免疫制御学講座、⁴日本歯科大学生命歯学部共同利用研究センター、⁵東海大学医学部免疫学教室)
- P-75 マーモセット由来EPEC簡易検出のためのXM-EHEC培地の応用
○森田 華子¹、井上 貴史²、保田 昌彦¹、内田 立樹^{1,3}、佐藤 梓^{1,3}、林元 展人¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²公益財団法人実験動物中央研究所マーモセット研究部、³株式会社ジェー・エー・シー)
- P-76 腸管病原性大腸菌はコモンマーモセットの出血性下痢症に関与する
○林元 展人¹、森田 華子¹、井上 貴史²、保田 昌彦^{1,3}、内田 立樹¹、佐藤 弘康⁴、清水 亜希子⁴、小嶋 由香⁴、岩瀬 耕一⁴、岡部 信彦⁴、伊藤 豊志雄²
(¹公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²公財)実中研マーモセット研究部、³公財)実中研病理解析センター、⁴川崎市健康安全研究所)
- P-77 霊長類を用いたHCV/GBV-Bキメラウイルス感染モデル
○東濃 篤徳¹、森 健一²、鈴木 紗織¹、岩崎 優紀¹、吉田 友教¹、齊藤 暁¹、榎 昇²、明里 宏文¹
(¹京都大学霊長類研究所、²先端生命科学研究所)

- P-78 GBV-B感染新世界ザルの液性免疫解析
○鈴木 紗織¹、東濃 篤徳¹、森 健一²、吉田 友教¹、
齊藤 暁¹、楨 昇²、明里 宏文¹
(¹京都大学霊長類研究所、²(株)先端生命科学研究所)

モデル動物

- P-79 Sox17-GFPトランスジェニックマウスを用いた着床メカニズムの解析
○川澄 みゆり¹、平松 龍人²、鈴木 仁美¹、
金井 克晃²、金井 正美¹
(¹東京医科歯科大学実験動物センター、²東京大学・獣医解剖)
- P-80 Hhシグナル伝達系の点突然変異マウスを用いた疾患モデル開発の試み
○牧野 茂、村田 卓也、福村 龍太郎、石塚 祐一、
小瀧 逸人、権藤 洋一
(理化学研究所バイオリソースセンター)
- P-81 B6系統にEL系統の痙攣発作感受性E12およびE14を導入したコンジェニック系統
○場崎 恵太、渡辺 夏奈、滝沢 達也、田中 和明
(麻布大学獣医学研究科動物応用科学専攻)
- P-82 妊娠高血圧モデルマウスの胎盤における酸化ストレス亢進の検討
○橋本 美涼^{1,2}、石田 純治²、石丸 友博²、深水 昭吉²
(¹筑波大学グローバル教育院、²筑波大学生命領域学際研究センター)
- P-83 ENUミュータジェネシスによるヒト持続性勃起症モデルマウスの開発
○金田 秀貴¹、三浦 郁生¹、鈴木 智広¹、古瀬 民生¹、
山田 郁子¹、小林 喜美男¹、茂木 浩未¹、土岐 秀明¹、
山田 源²、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²和歌山県立医科大学先端医学研究所)
- P-84 内耳におけるカルシウム動態に異常を示す難聴モデルマウス
○美野輪 治、茂木 浩未、土岐 秀明、井上 麻紀、
金田 秀貴、三浦 郁生、鈴木 智広、権藤 洋一、
若菜 茂晴、榊屋 啓志、野田 哲生
(理化学研究所筑波研究所バイオリソースセンター(BRC))
- P-85 Hepa1-6細胞とMIN6細胞における糖尿病関連遺伝子に対するRNAi活性の比較
○角谷 友佳梨、松岡 英明、齊藤 美佳子
(東京農工大学大学院工学府生命工学専攻)
- P-86 全身性グルコキナーゼヘテロ欠損マウスの表現型解析
○冠城 美早子、松岡 英明、齊藤 美佳子
(東京農工大学大学院工学府生命工学専攻)

- P-87 高脂肪食摂取により糖尿病を発症したグルコキナーゼヘテロ欠損マウスの便量の解析
○黒田 駿
(東京農工大学工学部生命工学科)

- P-88 マイクロアレイ解析用いたカヘキシーモデルマウスの病態関連遺伝子の探索
○齋藤 浩充¹、北村 浩²、John Morser³、鈴木 昇¹
(¹三重大学生命科学研究支援センター機能ゲノミクス分野動物機能ゲノミクス部門、²名古屋市立大学大学院医学研究科病態モデル医学分野、³スタンフォード大学医学部)
- P-89 ヨーロッパモリネズミにおけるアトルバスタチンのコレステロール低下作用
○名倉 彩香¹、七條 宏樹^{1,2}、泉 陽介^{1,2}、坂本 信介¹、
篠原 明男¹、越本 知大¹
(¹宮崎大学フロンティア科学実験総合センター実験支援部門生物資源分野、²宮崎大学農学部)

- P-90 高コレステロール飼料を給与したヨーロッパモリネズミにおけるリポ蛋白の変動
○山下 諒、七條 宏樹、坂本 信介、篠原 明男、
越本 知大
(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

バイオリソース

- P-91 東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門における遺伝子改変マウスの供給について
○久保 幸子¹、海部 知則¹、立石 麻理子¹、角田 茂²、
岩倉 洋一郎¹
(¹東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門、²信州大学ヒト環境科学研究支援センター動物実験部門)
- P-92 次世代型ジーンターゲティングシステム(RGDMS)で発見される点突然変異スペクトルの分析
○小瀧 逸人、福村 龍太郎、村田 卓也、牧野 茂、
中井 祐治、石塚 祐一、権藤 洋一
(理化学研究所BRC新規変異マウス研究開発チーム)
- P-93 可変型遺伝子トラップクローンを利用したCre-driverマウスの作製
○荒木 喜美¹、森田 彩香¹、宮家 幹子¹、
吉信 公美子¹、來海 葉子¹、慶田 貴子¹、古閑 成美¹、
中潟 直己¹、村上 重弓²、門田 雅世²、目加田 和之²、
吉木 淳²、荒木 正健¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター、²理研バイオリソースセンター)
- P-94 創薬支援をめざす医薬基盤研究所「実験動物研究資源バンク」の活動状況
○小浦 美奈子、河相 晶子、中野 正文、小川 純輝、
野口 洋子、鈴木 治、松田 潤一郎
(¹独)医薬基盤研究所疾患モデル小動物研究室)

- P-95 熊本大学CARD有償マウスバンクシステムを利用したマウス系統維持管理の効率化
○古波蔵 恵里¹、岩本 まり¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²九動株式会社)
- P-96 理研BRC国際マウス表現型解析コンソーシアム参加活動：進捗と将来計画
○小林 喜美男、鈴木 智広、金田 秀貴、三浦 郁生、古瀬 民生、山田 郁子、美野輪 治、土岐 秀明、茂木 浩未、榎屋 啓志、吉木 淳、若菜 茂晴、小幡 裕一
(独) 理化学研究所 バイオリソースセンター)
- P-97 マウス血液表現型解析における変動要因について
○加賀美 智子¹、佐賀 彩子¹、大島 正¹、岡 英治¹、尾崎 真央¹、茂木 浩未¹、美野輪 治¹、野田 哲生^{1,2}、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所筑波研究所バイオリソースセンター (BRC)、²がん研究会がん研究所)
- P-98 生物学的特性情報を扱うバイオリソースデータベース
○高月 照江¹、斉藤 実香子¹、松庫 義弘¹、蒔田 由布子²、吉田 有子²、望月 芳樹²、土井 考爾²、小林 紀郎²、中田 初美¹、西條 薫¹、吉木 淳¹、中村 幸夫¹、豊田 哲郎²、榎屋 啓志¹、小幡 裕一¹
(¹理研バイオリソースセンター、²理研、生命情報基盤部門)
- P-99 Cre/loxP遺伝子組換え前後を異なる蛍光タンパクでモニターするRosa26ノックインC57BL/6Nマウス
○大徳 陽子¹、長谷川 賀一¹、谷本 陽子¹、村上 亜弓²、門田 雅世²、橋本 知美²、目加田 和之²、中田 初美²、吉木 淳²、三輪 佳宏¹、依馬 正次¹、水野 聖哉¹、杉山 文博¹、八神 健一¹、高橋 智¹
(¹筑波大学生命科学動物資源センター、²理研BRC実験動物開発室)
- P-100 第3期ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」の魅力
○真下 知士、金子 武人、竹鶴 裕亮、Birger Voigt、吉見 一人、根小田 祐基、崔 宗虎、国広 弥生、古迫 久実、滝原 裕喜、浅田 浩子、中西 聡、山崎 賢一、庫本 高志
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)